



2023年12月18日

各 位

会 社 名 日本製鉄株式会社  
代表者名 代表取締役社長 橋本 英二  
(コード番号 5401 東証プライム、名証、福証、札証)  
問合せ先 総務部広報センター  
(TEL. 03-6867-2135、2146、2977、3419)

## 米国 United States Steel Corporation の買収について

日本製鉄株式会社(以下「当社」といいます。)は、2023年11月30日、12月15日及び12月18日開催の取締役会の決議により委任を受けた代表取締役により、本日(日本時間)、当社の米国子会社である NIPPON STEEL NORTH AMERICA, INC. (以下「NSNA」といいます。)を通じ、米国の高炉・電炉一貫の鉄鋼メーカーである United States Steel Corporation (以下「U. S. Steel」といいます。)を買収すること(以下「本買収」といいます。)、及びU. S. Steel との間で本買収に関する合併契約を締結することを決定致しましたので、下記の通り、お知らせ致します。

なお、当社及びU. S. Steel は、本日、別紙の通り、共同ステートメントをリリースしております。

### 記

#### 1. 本買収の概要・方法

本買収は、NSNA が本買収のために設立した子会社である 2023 Merger Subsidiary, Inc. と U. S. Steel とを合併する方法(逆三角合併)により実行致します。具体的には、当該合併により、U. S. Steel の発行済株式が合併対価(1株当たり55米ドル)を受領することができる権利に転換されて消滅し、それと同時に、NSNA が保有していた 2023 Merger Subsidiary, Inc. の発行済株式が U. S. Steel の株式に転換されることにより、U. S. Steel は当社の完全子会社となります。なお、本買収の実行は、U. S. Steel の株主総会において承認が得られること、関係当局の承認等が得られること、その他合併契約に定める前提条件が満たされることを条件としております。

合意した取得価格は U. S. Steel 株式の 2023 年 12 月 15 日の終値(39.33 米ドル/株)に対して 40% のプレミアムを加えた価格となります。

本買収を実行するための資金調達につきましては、主として主要取引銀行からの借入金で対応する予定であり、資金の手当てを確保しております。本買収の実行後、当社株主や財務健全性への影響も考慮した上で、当社経営・財務状況、市場動向などを勘案しながら、必要に応じて、資本構成を評価し最適な資金調達手段を検討して参ります。なお、資金調達は本買収が成立するための条件とはなっておりません。

#### 2. 本買収の目的

当社は、「総合力世界 No. 1 の鉄鋼メーカー」として、「需要の伸びが確実に期待できる地域」「当社の技術力・商品力を活かせる分野」において、上工程から一貫して付加価値を創造できる鉄源一貫生産体制を拡大し、日本製鉄グループとして「グローバル粗鋼1億トン体制」を目指しております。一貫生産体制の拡大に当たっては、買収・資本参加(ブラウンフィールド)等による一貫製鉄所の取得、既存拠点の能力拡張を基本戦略としており、2019年12月にインドの Essar Steel India Limited (現 AM/NS India)、2022年3月にタイの G steel 及び GJ steel を買収致しました。

米国鋼材市場は、輸出に依存しない国内需要中心の供給構造となっており、また、安価なエネルギー、世界経済の構造変化を背景に、エネルギー、製造業等の鋼材需要分野における米国内回帰の動きが顕著となってきております。米国鋼材市場は国内需要が今後も安定的に伸長すると見込まれていることに加えて、先進国最大の市場であり、高水準の高級鋼需要が期待できることから、当社の培ってきた技術力・商品力を活かせる地域

であります。

本買収は、当社の海外事業戦略に合致するだけでなく、規模及び成長率が世界的に見ても大きいインド、ASEANに加えて、先進国である米国に鉄源一貫製鉄所を持つことによるグローバル事業拠点の多様化の観点からも、大きな意義のある投資と判断致しました。今後、この3つのグローバル重点拠点の拡張・充実により、企業価値の更なる向上を目指して参ります。

U. S. Steel は、粗鋼生産量米国有数の高炉・電炉一貫鉄鋼メーカーで、自動車・家電・建材用途等の薄板、エネルギー分野用途の鋼管等を、米国と欧州(スロバキア)で製造・販売しております。粗鋼生産能力は約 20 百万トンで、競争力ある高炉一貫製鉄所に加え、高級鋼の生産が可能な先端的な電炉ミニミル、北米生産拠点で使用する鉄鉱石を自給できる鉄鉱石鉱山などの有用な資産を保有しております。また、電炉ミニミルの能力増強、電炉の原料となる直接還元鉄用ペレット製造設備の新設等、カーボンニュートラル化にも資する成長投資を行っております。

本買収により、当社グループのグローバル粗鋼生産能力(\*)は約 86 百万トンまで拡大し、更なる広がりを持つこととなります。当社と U. S. Steel の有する、電磁鋼板や自動車鋼板などの高級鋼製品に関する技術力を活かした製品・サービスを提供することで、顧客と社会に広く貢献し、「総合力世界 No. 1 の鉄鋼メーカー」として共に前進して参ります。

また、当社と U. S. Steel は、2050 年カーボンニュートラル達成という目標に向けて、これまで技術開発を推進してきており、それぞれ技術的な強みを持っております。当社は、「高炉水素還元」「水素による還元鉄製造」「大型電炉での高級鋼製造」の3つの超革新的技術によるカーボンニュートラルの実現を目指しております。U. S. Steel は、先端的な電炉ミニミルの1つである Big River Steel を運営しており、2024 年には Big River 2 の建設が完工予定です。

今後、両社の先端技術を融合することによって、2050 年カーボンニュートラルへの取り組みを更に推進し、持続可能な社会の実現に貢献して参ります。

(\*) World Steel Association が粗鋼生産実績の対象基準としている出資比率 30% 以上の会社の粗鋼生産能力を公称フル能力で単純合算(2023 年 3 月末時点)。

### 3. U. S. Steel の概要

(1)	名 称	United States Steel Corporation		
(2)	所 在 地	600 Grant Street, Pittsburgh, PA 15219-2800, U. S. A.		
(3)	代表者の役職・氏名	David B. Burritt, President and Chief Executive Officer		
(4)	事 業 内 容	自動車・家電・建材用途等の薄板、エネルギー分野用途の鋼管製品の製造・販売		
(5)	資 本 金(*1)	285 百万米ドル (2023 年 9 月 30 日時点)		
(6)	設 立 年	1901 年		
(7)	大株主及び特株比率(*2)	Blackrock, Inc. (10.3%)、The Vanguard Group (9.4%)		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	記載すべき事項はありません。	
		人 的 関 係	記載すべき事項はありません。	
		取 引 関 係	記載すべき事項はありません。	
		関連当事者への該当状況	当該会社は当社の関連当事者には該当しません。	
(9)	当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態(*3)			
	決算期	2020 年 12 期	2021 年 12 期	2022 年 12 期
	連 結 純 資 産	3,879 百万米ドル	9,103 百万米ドル	10,311 百万米ドル
	連 結 総 資 産	12,059 百万米ドル	17,816 百万米ドル	19,458 百万米ドル
	1 株 当 たり 連 結 純 資 産	17.60 米ドル	34.51 米ドル	45.14 米ドル

連 結 売 上 高	9,741 百万米ドル	20,275 百万米ドル	21,065 百万米ドル
連 結 営 業 利 益	▲1,075 百万米ドル	4,946 百万米ドル	3,160 百万米ドル
親 会 社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 当 期 利 益	▲1,165 百万米ドル	4,174 百万米ドル	2,524 百万米ドル
1 株 当 たり 連 結 当 期 利 益	▲5.92 米ドル	15.77 米ドル	10.22 米ドル
1 株 当 たり 配 当 金	0.04 米ドル	0.08 米ドル	0.20 米ドル

(※1) U. S. Steel が 2023 年 10 月 27 日に米国証券取引委員会 (SEC) に提出した Form 10-Q から引用

(※2) 株主提出書類に基づく情報 (2023 年 12 月 14 日時点の発行済普通株式数ベース)

(※3) U. S. Steel が 2022 年 2 月 11 日及び 2023 年 2 月 3 日に SEC に提出した Form 10-K から引用

#### 4. 取得株式数, 取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数 : 0 個) (議決権所有割合 : 0.0%)
(2) 取得株式数 (*4)	223,135,077 株 (議決権の数 : 223,135,077 個)
(3) 取得価額 (*5)	U. S. Steel の普通株式 14,126 百万米ドル
(4) 異動後の所有株式数	1 株 (議決権の数 : 1 個) (議決権所有割合 : 100.0%)

(※4) 2023 年 12 月 14 日時点の発行済普通株式数ベース

(※5) 取得価額には、新株予約権、Restricted Stock Unit、Convertible Notes 等その他証券取得に関する支払いを行うために要する金額を含んでおります。

#### 5. 日 程

(1) 契 約 締 結 日	2023 年 12 月 18 日
(2) U. S. Steel 株 主 総 会 決 議 日	2024 年 (暦年) 上半期 (予定)
(3) 本 買 収 の 実 行 日	2024 年 (暦年) 第 2 又は第 3 四半期 (予定) (*)

(※) 本買収の実行は U. S. Steel の株主総会において承認が得られること、関係当局の承認等が得られること、その他合併契約に定める前提条件が満たされることを条件としております。

#### 6. 今後の見通し

本買収による当社の業績への影響は、2023 年 11 月 1 日に公表した通期 (2024 年 3 月期) 連結業績予想に織り込んでおらず、現在精査中です。今後報告すべき事由が発生した場合は速やかに公表致します。

(参考) 当社の当期連結業績予想 (2023年11月1日公表分) 及び前期連結実績

	売上収益	事業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
当期業績予想 (2024年3月期)	9,000,000百万円	740,000百万円	420,000百万円	456.00円
前期実績 (2023年3月期)	7,975,586百万円	916,456百万円	694,016百万円	753.66円

以 上

## 【注意事項等】

※以下は、本文書の参考英訳を米国証券取引委員会に提出する関係で記載するものです。

### **Additional Information and Where to Find It**

This press release relates to the proposed transaction between the United States Steel Corporation (“U. S. Steel”) and NSC. In connection with the proposed transaction, U. S. Steel will file relevant materials with the United States Securities and Exchange Commission (“SEC”), including U. S. Steel’s proxy statement on Schedule 14A (the “Proxy Statement”). The information in the preliminary Proxy Statement will not be complete and may be changed. The definitive Proxy Statement will be delivered to stockholders of U. S. Steel. U. S. Steel may also file other documents with the SEC regarding the proposed transaction. This press release is not a substitute for the Proxy Statement or for any other document that may be filed with the SEC in connection with the proposed transaction. The proposed transaction will be submitted to U. S. Steel’s stockholders for their consideration. BEFORE MAKING ANY VOTING DECISION, U. S. STEEL’S STOCKHOLDERS ARE URGED TO READ ALL RELEVANT DOCUMENTS FILED OR TO BE FILED WITH THE SEC, INCLUDING THE PROXY STATEMENT, AS WELL AS ANY AMENDMENTS OR SUPPLEMENTS TO THOSE DOCUMENTS, CAREFULLY AND IN THEIR ENTIRETY IF AND WHEN THEY BECOME AVAILABLE BECAUSE THEY WILL CONTAIN IMPORTANT INFORMATION ABOUT U. S. STEEL, NSC AND THE PROPOSED TRANSACTION.

U. S. Steel’s stockholders will be able to obtain free copies of the preliminary Proxy Statement and the definitive Proxy Statement (in each case, if and when available), as well as other documents containing important information about U. S. Steel, NSC and the proposed transaction once such documents are filed with the SEC, without charge, at the SEC’s website ([www.sec.gov](http://www.sec.gov)). Copies of the Proxy Statement and the other documents filed with the SEC by U. S. Steel can also be obtained, without charge, by directing a request to United States Steel Corporation, 600 Grant Street, Pittsburgh, Pennsylvania 15219, Attention: Corporate Secretary; telephone 412-433-1121, or from U. S. Steel’s website [www.ussteel.com](http://www.ussteel.com).

### **Participants in the Solicitation**

NSC, U. S. Steel and their directors, and certain of their executive officers and employees may be deemed to be participants in the solicitation of proxies from U. S. Steel’s stockholders in respect of the proposed transaction. Information regarding the directors and executive officers of U. S. Steel who may, under the rules of the SEC, be deemed participants in the solicitation of U. S. Steel’s stockholders in connection with the proposed transaction, including a description of their direct or indirect interests, by security holdings or otherwise, will be set forth in the Proxy Statement when it is filed with the SEC. Information about these persons is included in each company’s annual proxy statement and in other documents subsequently filed with the SEC, and will be included in the Proxy Statement when filed. Free copies of the Proxy Statement and such other materials may be obtained as described in the preceding paragraph.

### **Forward-Looking Statements**

This press release contains information regarding U. S. Steel and NSC that may constitute “forward-looking statements,” as that term is defined under the Private Securities Litigation Reform Act of 1995 and other securities laws, that are subject to risks and uncertainties. We intend the forward-looking statements to be covered by the safe harbor provisions for forward-looking statements in those sections. Generally, we have identified such forward-looking statements by using the words “believe,” “expect,” “intend,” “estimate,” “anticipate,” “project,” “target,” “forecast,” “aim,” “should,” “plan,” “goal,” “future,” “will,” “may” and similar expressions or by using future dates in connection with any discussion of, among other things, statements expressing general views about future operating or financial results, operating or financial performance, trends, events or developments that we expect or anticipate will occur in the future, anticipated cost savings, potential capital and operational cash improvements and changes in the global economic environment, as well as statements regarding the proposed transaction, including the timing of the completion of the transaction. However, the absence of these words or similar expressions does not mean that a statement is not forward-looking. Forward-looking statements include all statements that are not historical facts, but instead represent only U. S. Steel’s beliefs regarding future goals, plans and expectations about our prospects for the future and other events, many of which, by their nature, are inherently uncertain and outside of U. S. Steel’s or NSC’s control. It is possible that U. S. Steel’s or NSC’s actual results and financial condition may differ, possibly materially, from the anticipated results and financial condition indicated in these forward-looking statements. Management

of U. S. Steel or NSC, as applicable, believes that these forward-looking statements are reasonable as of the time made. However, caution should be taken not to place undue reliance on any such forward-looking statements because such statements speak only as of the date when made. In addition, forward looking statements are subject to certain risks and uncertainties that could cause actual results to differ materially from U. S. Steel's or NSC's historical experience and our present expectations or projections. Risks and uncertainties include without limitation: the ability of the parties to consummate the proposed transaction on a timely basis or at all; the timing, receipt and terms and conditions of any required governmental and regulatory approvals of the proposed transaction that could cause the parties to terminate the definitive agreement and plan of merger relating to the proposed transaction (the "Merger Agreement"); the occurrence of any event, change or other circumstances that could give rise to the termination of the Merger Agreement; the possibility that U. S. Steel's stockholders may not approve the proposed transaction; the risks and uncertainties related to securing the necessary stockholder approval; the risk that the parties to the Merger Agreement may not be able to satisfy the conditions to the proposed transaction in a timely manner or at all; risks related to disruption of management time from ongoing business operations due to the proposed transaction; certain restrictions during the pendency of the proposed transaction that may impact U. S. Steel's ability to pursue certain business opportunities or strategic transactions; the risk that any announcements relating to the proposed transaction could have adverse effects on the market price of U. S. Steel's common stock or NSC's common stock or American Depositary Receipts; the risk of any unexpected costs or expenses resulting from the proposed transaction; the risk of any litigation relating to the proposed transaction; and the risk that the proposed transaction and its announcement could have an adverse effect on the ability of U. S. Steel or NSC to retain customers and retain and hire key personnel and maintain relationships with customers, suppliers, employees, stockholders and other business relationships and on its operating results and business generally; and the risk the pending proposed transaction could distract management of U. S. Steel. U. S. Steel directs readers to its Form 10-K for the year ended December 31, 2022 and Quarterly Report on Form 10-Q for the quarter ended September 30, 2023, and the other documents it files with the SEC for other risks associated with U. S. Steel's future performance. These documents contain and identify important factors that could cause actual results to differ materially from those contained in the forward-looking statements. Risks related to NSC's forward-looking statements include, but are not limited to, changes in regional and global macroeconomic conditions, particularly in Japan, China and the United States; excess capacity and oversupply in the steel industry; unfair trade and pricing practices in regional markets; the possibility of low steel prices or excess iron ore supply; the possibility of significant increases in market prices of essential raw materials; the possibility of depreciation of the value of the Japanese yen against the U.S. dollar and other major foreign currencies; the loss of market share to substitute materials; NSC's ability to reduce costs and improve operating efficiency; the possibility of not completing planned alliances, acquisitions or investments, or such alliances, acquisitions or investments not having the anticipated results; natural disasters and accidents or unpredictable events which may disrupt NSC's supply chain as well as other events that may negatively impact NSC's business activities; risks relating to CO2 emissions and NSC's challenge for carbon neutrality; the economic, political, social and legal uncertainty of doing business in emerging economies; the possibility of incurring expenses resulting from any defects in our products or incurring additional costs and reputational harm due to product defects of other steel manufacturers; the possibility that we may be unable to protect our intellectual property rights or face intellectual property infringement claims by third parties; changes in laws and regulations of countries where we operate, including trade laws and tariffs, as well a tax, environmental, health and safety laws; and the possibility of damage to our reputation and business due to data breaches and data theft. All information in this press release is as of the date above. Neither U. S. Steel nor NSC undertakes any duty to update any forward-looking statement to conform the statement to actual results or changes in U. S. Steel's or NSC's expectations whether as a result of new information, future events or otherwise, except as required by law.

## 日本製鉄が U. S. Steel を買収

### ～「総合力世界 No. 1 の鉄鋼メーカー」として共に前進～

日本製鉄は U. S. Steel を 1 株当たり 55.00 ドルで、40%のプレミアムに相当する全額現金で買収し、U. S. Steel の株主に即時に大きな価値を提供へ

長い歴史の中で優れた製品・サービスを提供し、社会の発展に貢献してきた 2 社がひとつに

世界最高の技術とものづくりの力を融合し、世界中のお客様により良い価値を提供

日本製鉄はステークホルダーとの強固な関係を維持する一環として労働組合との関係性を尊重

持続可能な社会を目指し、2050 年までの脱炭素をめざすという共通の目標に向け世界の鉄鋼業界をリード

本買収後も社名は United States Steel であり、本社所在地は、ペンシルベニア州ピッツバーグを継承

本買収は、U. S. Steel の Strategic Alternative Process の集大成

日本製鉄と U. S. Steel の株主価値向上に大きく貢献

[東京都千代田区、米国ペンシルベニア州ピッツバーグ 2023 年 12 月 18 日]—日本最大手であり世界トップクラスの鉄鋼メーカーである日本製鉄株式会社 (以下、日本製鉄) (東証プライム: 5401) と、米国有数の鉄鋼メーカーで、競争力ある鉄鉱石鉱山、電炉ミニミル、そして最高水準の競争力ある製造能力を持つ United States Steel Corporation (以下、U. S. Steel) (NYSE:X) は、本日、日本製鉄が U. S. Steel を 1 株当たり 55.00 ドル (約 14.1 億ドルの株式価値と負債を合わせた 14.9 億ドルの企業価値)、全額現金で買収 (以下、本買収) する契約を締結したことを発表しました。1 株当たり 55.00 ドルの買収価格は、2023 年 12 月 15 日の U. S. Steel の株価終値に対して 40%のプレミアムを付与するものです。本買収は、日本製鉄と U. S. Steel 両社の取締役会において全会一致で承認されました。

本買収により、日本製鉄は、世界最高の技術とものづくりの力を高めるとともに、より多くの国・地域でお客様をはじめとするすべてのステークホルダーにより良い価値を提供してまいります。また、本買収により、日本、ASEAN、インドの主要市場に加え、現在の米国事業を大幅に拡大し、日本製鉄のグローバル展開を更に多様化してまいります。本買収により日本製鉄グループの年間粗鋼生産能力は 8,600 万トンに達する見通しで、グローバル粗鋼生産能力 1 億トンという日本製鉄の戦略目標への進捗を加速化します。

日本製鉄 代表取締役社長 橋本英二は次のように述べています。「世界トップクラスの技術とものづくりの力を持つ企業 2 社がひとつのグループとなることを喜ばしく思います。これにより、世界中のお客様により良い価値を提供するという日本製鉄のミッション及び製鉄業における脱炭素化を通じてより

環境に配慮した社会の発展に貢献するという日本製鉄のコミットメントを実現していきます」。「日本製鉄は、U.S. Steel の先進技術、事業沿革、有為の人材を高く評価しており、より高い目標に向けて共に挑戦することができるかと確信しています。本買収により、米国における当社のプレゼンスをさらに強化し、U.S. Steel の既存の労働組合との関係性を尊重していきます。『総合力世界 No.1 の鉄鋼メーカー』として共に前進すべく、両社の強みを結集し、U.S. Steel と協働することを楽しみにしています」。

日本製鉄 代表取締役副社長 森高弘は次のように述べています。「本買収は、U.S. Steel 株主に即時に大きな価値をもたらすものであり、日本製鉄にとっても長期的な成長機会となるという点で、両社にとって最善の利益に合致すると確信しています」。「日本製鉄は強固な財務基盤を有しており、本買収の実行について自信を持っています。本買収により、お客様、従業員、サプライヤー、地域社会、株主等の両社のステークホルダーにとっての長期的価値を創造してまいります」。

U.S. Steel の社長兼最高経営責任者 (CEO) デイビッド・ブリットは、次のように述べています。「日本製鉄は、製鉄所の買収、運営、投資を世界的に行ってきた実績があり、本日の発表は、当社の戦略である、Best for All®に合致するものであると確信しています」。「本買収は当社の多大な価値を実現するものであり、当社取締役会の包括的かつ徹底的な Strategic Alternative Process の結果です。U.S. Steel の従業員にとって、本買収は、安全を重視し、共通の目標、価値観、豊かな歴史に裏打ちされた戦略を持つ、志を同じくする鉄鋼会社を結びつけるものです。U.S. Steel と日本製鉄は、お客様の進化するニーズに対応できる能力と革新性を併せ持つ、真のグローバル鉄鋼会社を創出します。両社が脱炭素に重点を置くことで、持続可能な目標を達成するための鉄鋼ソリューションをお客様に提供する能力が強化され、加速されるものと期待しています」。

## **本買収の戦略的意義**

### **- 「総合力世界 No.1 の鉄鋼メーカー」として共に前進**

本買収により、日本製鉄 と U.S. Steel の最先端の技術を組み合わせることで、技術革新を加速し、電磁鋼板や自動車用鋼板等の高級鋼をお客様に提供します。日本製鉄と U.S. Steel は、世界最高の技術とものづくりの力を共有し、製鉄業のイノベーションとデジタルトランスフォーメーションをリードし、お客様の利益に貢献します。U.S. Steel は、子会社である Big River Steel 社において北米で最も先進的で持続可能な製鉄所を運営するなど、エネルギー効率に優れた革新的な企業です。日本製鉄と U.S. Steel は、コスト競争力の高い事業運営、省エネ、リサイクルなどの先進的な生産技術とノウハウの融合により、本買収のシナジーを最大化します。日本製鉄の知的財産は、U.S. Steel の米国で製造される製品ポートフォリオの技術的能力をさらに進化させ、米国のお客様の進化するニーズに対して、より良いサポートを提供していきます。

### **- 米国および世界の高級鋼に対する需要の高まりへの対応力を強化**

U.S. Steel は長年にわたり米鉄鋼業界をリードしてきた会社の一つであり、日本製鉄も数十年にわたり米国のお客様に価値を提供してきました。日本製鉄は U.S. Steel と共に、高級鋼需要の高まりに対応し、より優れた製品とサービスで貢献して参ります。さらに、日本製鉄は、様々な用途のニーズに応える高級鋼を米国及び世界のお客様に提供します。

### **- 脱炭素化と持続可能な社会の実現に向けて、世界の鉄鋼業界をリード**

日本製鉄と U.S. Steel は、カーボン・ニュートラルを実現するという共通の目標を掲げており、持続可能な社会の実現が鉄鋼メーカーの存在価値と成長の基本的な柱であると認識しています。本買収後、この目標を引き続き推進し、脱炭素化の革新技術の開発で協業していきます。日本製鉄は、「高炉水素還元」、「水素による還元鉄製造」、「大型電炉での高級鋼製造」という 3つのカーボ

ン・ニュートラルに向けた超革新的な技術を開発しています。U.S. Steel も同様に、継続的に高い省エネ技術を追求するとともに先進的な電炉ミニミルの1つである Big River Steel を運営しており、2024年にはBig River 2の建設が完工予定です。

#### **U.S. Steel と全米鉄鋼労働組合 (USW) とのすべての合意を尊重**

日本製鉄は、職場の安全性と労働組合との協働において、良好な関係を構築してきた長年の実績があります。日本製鉄は、U.S. Steel が労働組合との間で締結している労働協約を含む U.S. Steel と従業員とのあらゆる約束を守り、引き続き信頼関係の構築に努めてまいります。

#### **- 従業員、顧客、サプライヤー、地域社会等のステークホルダーとの関係強化**

U.S. Steel の全ての従業員は、米国、さらには世界における事業展開において大切な存在です。本買収後も社名は引き続き U.S. Steel とし、U.S. Steel の本社所在地もペンシルベニア州ピッツバーグとする考えです。日本製鉄は、引き続き U.S. Steel のサプライヤー、お客様、地域社会や、共に事業を行う人々との良好な関係を継続し、社会から信頼される一員として貢献してまいります。

#### **- 日本製鉄と U.S. Steel の株主価値向上に大きく貢献**

本買収は、「総合力世界 No.1 の鉄鋼メーカー」としての成長を加速し、日本製鉄の株主にとって、高い成長と収益性の向上、更には長期的な価値を実現します。全額現金による買収提案は、U.S. Steel の株主に強力かつ確実性の高い価値をもたらします。本買収は U.S. Steel が公表した Strategic Alternative Process の成果です。

### **案件概要**

本買収は、U.S. Steel の株主総会において承認が得られること、関係当局による承認等が得られること、その他の合併契約に定める条件が満たされることを前提条件としており、2024年第2および第3四半期のクロージングを目標としています。日本製鉄は、主として主要取引銀行からの借入金により、買収資金を確保しています。なお、資金調達条件は本買収が成立するための条件にはなっておりません。

### **アドバイザー**

日本製鉄のファイナンシャル・アドバイザーは Citi、リーガル・アドバイザーは Ropes & Gray LLP が務めています。U.S. Steel のファイナンシャル・アドバイザーは Barclays Capital Inc、Goldman Sachs & Co LLC、リーガル・アドバイザーは Milbank LLP、Wachtell, Lipton, Rosen & Katz が務めています。

### **カンファレンスコール**

日本製鉄と U.S. Steel は、本日 2023 年 12 月 18 日 午後 10:00 (日本時間、米国時間 午前 8:00) に、アナリスト及び投資家向けの本買収に関するカンファレンスコールを行います。カンファレンスコールは、ウェブキャスト経由で行います。

<https://event.choruscall.com/mediaframe/webcast.html?webcastid=S9ip3qYD>.

カンファレンスコールの資料は、会議の前に掲載され、リプレイは、U.S. Steel の投資家向け広報のウェブサイトで確認できます。

<https://investors.ussteel.com/>.

さらなる本買収についての資料は、以下よりご確認いただけます。

[www.BestDealforAmericanSteel.com](http://www.BestDealforAmericanSteel.com).



## 日本製鉄について

日本製鉄は、日本最大手、世界トップクラスの鉄鋼メーカーです。日本製鉄グループの年間グローバル粗鋼生産能力は約 6,600 万トン<sup>(\*)</sup> (2023 年度現在)、世界の従業員数は約 10 万名、日本国内および、米国、インド、タイ、インドネシア、ベトナム、ブラジル、メキシコ、スウェーデン、中国等世界 15 カ国以上でプレゼンスがあります。日本製鉄は約 40 年前に米国に合弁会社を設立し、従業員、労働組合、サプライヤー、顧客、地域社会との協力的かつ良好な関係の構築に注力しています。日本製鉄は「総合力世界 No. 1 の鉄鋼メーカー」として持続的成長を目指し、世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて社会の発展に貢献します。詳細は <https://www.nipponsteel.com> をご覧ください。

(\*)World Steel Association が粗鋼生産実績の対象基準としている出資比率 30%以上の会社の粗鋼生産能力を公称フル能力で単純合算(2023 年 3 月末時点)

## U. S. Steel について

1901 年設立の U. S. Steel は、有数の鉄鋼メーカーです。安全を最優先事項とするとともに、顧客中心の「Best for All<sup>®</sup>」戦略により、U. S. Steel とステークホルダーのより安全で持続可能な未来を推進しています。U. S. Steel は新たな視点でイノベーションを重視し、自動車、建設、家電、エネルギー、コンテナ、梱包業界に高付加価値の鉄鋼製品を提供します。また、高度な鉄鉱石生産を維持し、年間粗鋼生産能力は 2,240 万トンに上ります。U. S. Steel は米国ペンシルベニア州ピッツバーグに本社を置き、米国および中欧で世界トップクラスの事業を運営しています。詳細は [www.ussteel.com](http://www.ussteel.com)

をご覧ください。

## 日本製鉄お問い合わせ先

### *メディア*

[pr-contact@jp.nipponsteel.com](mailto:pr-contact@jp.nipponsteel.com)

Kayo Kikuchi / +81-3-6867-2977 / [kikuchi.26s.kayo@jp.nipponsteel.com](mailto:kikuchi.26s.kayo@jp.nipponsteel.com)

Masato Suzuki / +81-3-6867-2135 / [suzuki.s4f.masato@jp.nipponsteel.com](mailto:suzuki.s4f.masato@jp.nipponsteel.com)

### *投資家*

[ir@jp.nipponsteel.com](mailto:ir@jp.nipponsteel.com)

Yuichiro Kaneko / +81(80)9022 6867 / [kaneko.yc3.yuichiro@jp.nipponsteel.com](mailto:kaneko.yc3.yuichiro@jp.nipponsteel.com)

Yohei Kato / +81(80)2131 0188 / [kato.rk5.yohei@jp.nipponsteel.com](mailto:kato.rk5.yohei@jp.nipponsteel.com)

### *その他のお問い合わせ (米国)*

Nippon Steel North America, Inc. / +1 (713) 654 7111

### *米国メディアお問い合わせ*

[NSCMedia@teneo.com](mailto:NSCMedia@teneo.com)

Robert Mead / +1 (917) 327 9828 / [Robert.Mead@teneo.com](mailto:Robert.Mead@teneo.com)

Monika Driscoll / +1 (929) 388 9442 / [Monika.Driscoll@teneo.com](mailto:Monika.Driscoll@teneo.com)

Tucker Elcock / +1 (917) 208 4652 / [Tucker.Elcock@teneo.com](mailto:Tucker.Elcock@teneo.com)

## U. S. Steel お問い合わせ先:

### **Media**

**Tara Carraro**

Senior Vice President, Chief Communications Officer

T- 412-433-1300

E- media@uss.com

**Kelly Sullivan / Ed Trissel**

Joele Frank, Wilkinson Brimmer Katcher

T- 212-355-4449

***Investors***

**Kevin Lewis**

Vice President

Finance

T- 412-433-6935

E- [klewis@uss.com](mailto:klewis@uss.com)

+++

**免責事項および将来予想に関する記述**

以下は、本文書（英語版）を米国証券取引委員会に提出する関係で記載するものです。

This press release relates to the proposed transaction between the United States Steel Corporation (the “Company”) and NSC. In connection with the proposed transaction, the Company will file relevant materials with the United States Securities and Exchange Commission (“SEC”), including the Company’s proxy statement on Schedule 14A (the “Proxy Statement”). The information in the preliminary Proxy Statement will not be complete and may be changed. The definitive Proxy Statement will be delivered to stockholders of the Company. The Company may also file other documents with the SEC regarding the proposed transaction. This press release is not a substitute for the Proxy Statement or for any other document that may be filed with the SEC in connection with the proposed transaction. The proposed transaction will be submitted to the Company’s stockholders for their consideration. BEFORE MAKING ANY VOTING DECISION, THE COMPANY’S STOCKHOLDERS ARE URGED TO READ ALL RELEVANT DOCUMENTS FILED OR TO BE FILED WITH THE SEC, INCLUDING THE PROXY STATEMENT, AS WELL AS ANY AMENDMENTS OR SUPPLEMENTS TO THOSE DOCUMENTS, CAREFULLY AND IN THEIR ENTIRETY IF AND WHEN THEY BECOME AVAILABLE BECAUSE THEY WILL CONTAIN IMPORTANT INFORMATION ABOUT THE COMPANY, NSC AND THE PROPOSED TRANSACTION.

The Company’s stockholders will be able to obtain free copies of the preliminary Proxy Statement and the definitive Proxy Statement (in each case, if and when available), as well as other documents containing important information about the Company, NSC and the proposed transaction once such documents are filed with the SEC, without charge, at the SEC’s website ([www.sec.gov](http://www.sec.gov)). Copies of the Proxy Statement and the other documents filed with the SEC by the Company can also be obtained, without charge, by directing a request to United States Steel Corporation, 600 Grant Street, Pittsburgh, Pennsylvania 15219, Attention: Corporate Secretary; telephone 412-433-1121, or from the Company’s website [www.ussteel.com](http://www.ussteel.com).

**Participants in the Solicitation**

NSC, the Company and their directors, and certain of their executive officers and employees may be deemed to be participants in the solicitation of proxies from the Company’s stockholders in respect of the proposed transaction. Information regarding the directors and executive officers of the Company who may, under the rules of the SEC, be deemed participants in the solicitation of the Company’s stockholders in connection with the proposed transaction, including a description of their direct or indirect interests, by security holdings or otherwise, will be set forth in the Proxy Statement when it is filed with the SEC. Information about these persons is included in each company’s annual proxy statement and in other

documents subsequently filed with the SEC, and will be included in the Proxy Statement when filed. Free copies of the Proxy Statement and such other materials may be obtained as described in the preceding paragraph.

### **Forward-Looking Statements**

This press release contains information regarding the Company and NSC that may constitute “forward-looking statements,” as that term is defined under the Private Securities Litigation Reform Act of 1995 and other securities laws, that are subject to risks and uncertainties. We intend the forward-looking statements to be covered by the safe harbor provisions for forward-looking statements in those sections. Generally, we have identified such forward-looking statements by using the words “believe,” “expect,” “intend,” “estimate,” “anticipate,” “project,” “target,” “forecast,” “aim,” “should,” “plan,” “goal,” “future,” “will,” “may” and similar expressions or by using future dates in connection with any discussion of, among other things, statements expressing general views about future operating or financial results, operating or financial performance, trends, events or developments that we expect or anticipate will occur in the future, anticipated cost savings, potential capital and operational cash improvements and changes in the global economic environment, as well as statements regarding the proposed transaction, including the timing of the completion of the transaction. However, the absence of these words or similar expressions does not mean that a statement is not forward-looking. Forward-looking statements include all statements that are not historical facts, but instead represent only the Company’s beliefs regarding future goals, plans and expectations about our prospects for the future and other events, many of which, by their nature, are inherently uncertain and outside of the Company’s or NSC’s control. It is possible that the Company’s or NSC’s actual results and financial condition may differ, possibly materially, from the anticipated results and financial condition indicated in these forward-looking statements. Management of the Company or NSC, as applicable, believes that these forward-looking statements are reasonable as of the time made. However, caution should be taken not to place undue reliance on any such forward-looking statements because such statements speak only as of the date when made. In addition, forward looking statements are subject to certain risks and uncertainties that could cause actual results to differ materially from the Company’s or NSC’s historical experience and our present expectations or projections. Risks and uncertainties include without limitation: the ability of the parties to consummate the proposed transaction on a timely basis or at all; the timing, receipt and terms and conditions of any required governmental and regulatory approvals of the proposed transaction that could cause the parties to terminate the definitive agreement and plan of merger relating to the proposed transaction (the “Merger Agreement”); the occurrence of any event, change or other circumstances that could give rise to the termination of the Merger Agreement; the possibility that the Company’s stockholders may not approve the proposed transaction; the risks and uncertainties related to securing the necessary stockholder approval; the risk that the parties to the Merger Agreement may not be able to satisfy the conditions to the proposed transaction in a timely manner or at all; risks related to disruption of management time from ongoing business operations due to the proposed transaction; certain restrictions during the pendency of the proposed transaction that may impact the Company’s ability to pursue certain business opportunities or strategic transactions; the risk that any announcements relating to the proposed transaction could have adverse effects on the market price of the Company’s common stock or NSC’s common stock or American Depositary Receipts; the risk of any unexpected costs or expenses resulting from the proposed transaction; the risk of any litigation relating to the proposed transaction; and the risk that the proposed transaction and its announcement could have an adverse effect on the ability of the Company or NSC to retain customers and retain and hire key personnel and maintain relationships with customers, suppliers,

employees, stockholders and other business relationships and on its operating results and business generally; and the risk the pending proposed transaction could distract management of the Company. The Company directs readers to its Form 10-K for the year ended December 31, 2022 and Quarterly Report on Form 10-Q for the quarter ended September 30, 2023, and the other documents it files with the SEC for other risks associated with the Company's future performance. These documents contain and identify important factors that could cause actual results to differ materially from those contained in the forward-looking statements. Risks and uncertainties related to NSC's forward-looking statements also include, but are not limited to, changes in regional and global macroeconomic conditions, particularly in Japan, China and other Asian countries; excess capacity and oversupply in the steel industry; unfair trade and pricing practices in NSC's home markets; the possibility of low steel prices or excess iron ore supply; the possibility of significant increases in market prices of essential raw materials; the possibility of depreciation of the value of the Japanese yen against the U.S. dollar and other major foreign currencies; the loss of market share to substitute materials; NSC's ability to reduce costs and improve operating efficiency; the possibility of incurring additional costs when production capacity is idled or when production is resumed at idle facilities; the possibility of not completing planned alliances, acquisitions or investments, or such alliances, acquisitions or investments not having the anticipated results; natural disasters and accidents or unpredictable events which may disrupt NSC's supply chain as well as other events that may negatively impact NSC's business activities; the economic, political, social and legal uncertainty of doing business in emerging economies; the possibility of incurring expenses resulting from any defects in our products or incurring additional costs and reputational harm due to product defects of other steel manufacturers; the possibility that we may be unable to protect our intellectual property rights or face intellectual property infringement claims by third parties; changes in laws and regulations of countries where we operate, including trade laws and tariffs, as well as tax, environmental, health and safety laws; and the possibility of damage to our reputation and business due to data breaches and data theft. All information in this press release is as of the date above. Neither the Company nor NSC undertakes any duty to update any forward-looking statement to conform the statement to actual results or changes in the Company's or NSC's expectations whether as a result of new information, future events or otherwise, except as required by law.